

組合だより

第 1 0 0 号
1 0 月 2 4 日
2 0 0 6 年

発行所 岡山大学職員組合
〒700-8530 岡山市津島中2-1-1
電 話 086-252-1111 (代)
(内線) 7168
直通・F A X 086-252-4148

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

中四国教研集会(2006年6月17・18日岡山大学で開催)報告集第2弾

アンケート結果報告



2006年5月下旬に、学内に労働環境に関するアンケートを実施しましたが、約1540通アンケート用紙を配布したところ、136名の方々からご回答頂きました。貴重なお時間を割いて、ご回答下さった方々、本当にありがとうございました。以下がその結果報告です。ご報告が大変に遅れてしまいましたことを、お詫びいたします。

前回との比較・組合員/非組合員の回答率

アンケートは2002年にも行いました。今回のアンケートの分析に入る前に、まず前回のアンケートとの比較をしてみたいと思います。前回のアンケートは、非組合員の多い事務職員の方だけが対象でしたが、842通配布して38通(4.5%)の回答がありました。それに比べると、今回は9.1%の回答で、大学構成員の方々の労働環境に対する意識の高まりが現れているものと理解できます。

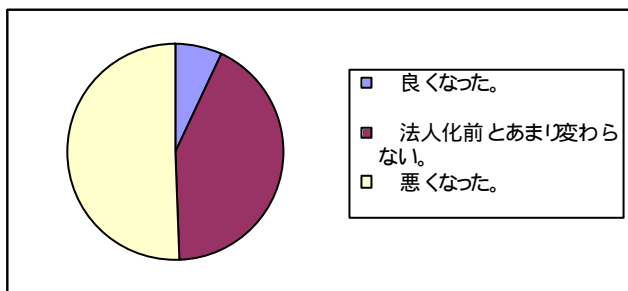
また、136名の内訳も、組合員55名、非組合員80名、不明1名であり、非組合員の方々の回答の方が組合員よりも多かったことが印象的です。現在の総組合員数は510名ですので、組合員の回収率は約10.8%、非組合員の回収率は約7.8%となります。

それでは、アンケートの各項目ごとの結果を見てみましょう。まずは労働環境について。

労働環境について

1. 法人化前と比べて、今の職場の労働環境は、良くなりましたか。(総数115名)

良くなった。 8名
法人化前とあまり変わらない。 49名
悪くなった。 58名



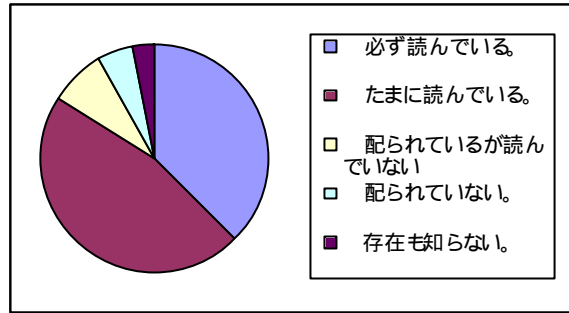
上のグラフからも明らかなように、労働環境が良くなったとする回答者は1割もないのに対して、回答者の半数が労働環境が悪くなったと回答しています。また、これに続く設問2では、「どういうところが良くなったのか、あるいは悪くなったのか」を書いて頂きましたが、良くなったところを書いた人は7名なのに対し、悪くなった所を書いた人は52名でした。

良くなったところは、「自由度が増した」「意識が出ている」「休みが増えた」というのがありました。それに対し、悪くなったところは、「仕事が増えた」「給料や研究費が減った」「成果主義、競争原理の導入により、人間関係が悪化している」というのがありました。成果主義や競争原理により、大学そのものが発展しても、そこで働いている人たちの人間関係が悪くなってしまったのでは元も子もありません。



3. 職員組合は、『組合だより』等を通じて、団体交渉の情報等をいち早く皆さんに報告していますが(今年度は87号から94号を発行)『組合だより』を読んでいただいておりますでしょうか。(総数136名)

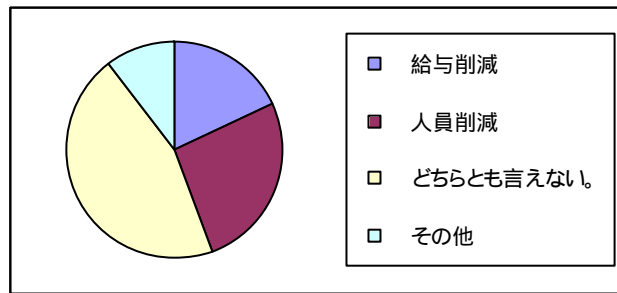
必ず読んでいる。	51名
たまに読んでいる。	63名
配られているが読んでいない。	11名
配られていない。	7名
存在も知らない。	4名



約85%の方々が、「必ず読んでいる」「たまに読んでいる」と回答しており、組合だよりを発行している編集委員としても嬉しい限りです。しかし、「配られていない」「存在も知らない」という回答もあったので、今後は全大学構成員に配布するよう努力するとともに、読みやすい紙面作り心がけていきたいと思ひます。

4. 岡山大学の総予算が削減されていく中で、「給与削減」と「人員削減」が打ち出されています。いずれも教職員にとって好ましい方向ではありませんが、経費削減を図る上でこの両者では、どちらを重視すべきだと思いますか。(総数131名)

給与削減	24名
人員削減	34名
どちらとも言えない。	59名
その他	14名

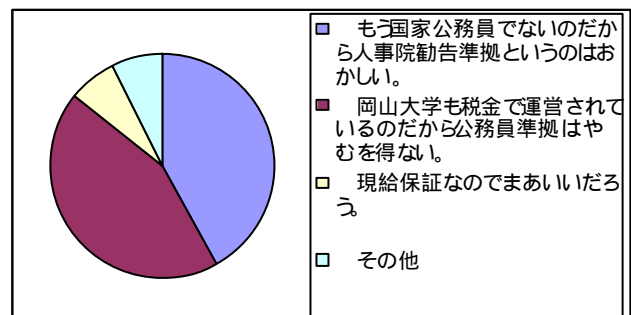


この設問では、「給与削減」と「人員削減」のどちらかといえば、「人員削減」の方が若干多いです。しかし、「どちらとも言えない」というのが約45%で、給与と人員どちらを減らしたらいいかと言われても困るという回答者の気持ちが表れているようです。

「その他のコメント」には、無駄な出費を削減したり、仕事内容を見直したりすれば、給与も人員も削減しなくてもすむのではないかという内容の回答が複数ありました。

5. 岡山大学において、今年4月より人事院勧告準拠の賃金体系が導入されました。現給保証はされるというものの、平均4.8%の俸給ダウンとなり、当分給料が上がらないことに関してどう思いますか。(総数131名)

もう国家公務員でないのだから	
人事院勧告準拠というのはおかしい。	55名
岡山大学も税金で運営されているのだから	
公務員準拠はやむを得ない。	57名
現給保証なのでまあいいだろう。	9名
その他	10名

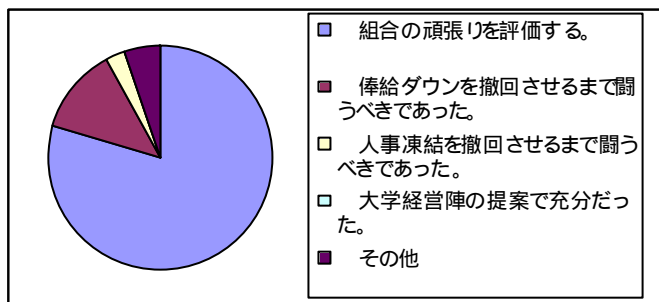


この設問では、と がほぼ同数です。しかし、その内訳に組合員と非組合員でのこの問題に関する態度の違いが表れています。 と回答した組合員は、55名中28人で約半数でした。一方、 と回答した非組合員は、80名中27人と約3分の1です。また、 と回答した組合員は17名で約3分の1、 と回答した非組合員は39名で約半数でした。この数字から判断する限り、組合員の方が を選ぶ傾向がより大きく、非組合員は を選ぶ傾向があるようです。また、職種別に見ると、教員が を(66名中30名)、職員が を(39名中20名) 選ぶ傾向があります。

その他のコメントでは、教員に関しては「優秀な人が私立大に逃げていくのではないか」というのがありました。また、職員に関しては「(今回のことは)仕方がないが、やる気を起こさせる給与体系を望む。例えば、誰もが納得のいく査定をし、ボーナス・給与に反映させ、部下が上司を査定しても良いと思う」という意見がありました。

6. 岡山大学職員組合は、上記5の事態に対し、「賃金引き下げ」反対を掲げて団体交渉を行いました。論拠は、1%シーリングがあるとはいえ、運営費交付金は前年度並みで来ており、定期昇給が可能なこと。今後予定されている人事凍結からすれば人件費は浮くはずであり、またそれによる労働強化が進んでいることなどです。こうしたことから組合は、教職員数削減に反対し、減らすなら給与増を主張しました。交渉の結果、ボーナス上乗せ数を増員するとの回答を得ました(増員率は今後の交渉による)。この成果についてどう思いますか。(総数136名)

組合の頑張り进行评估する。	108名
俸給ダウンを撤回させるまで闘うべきであった。	17名
人事凍結を撤回させるまで闘うべきであった。	4名
大学経営陣の提案で充分だった。	0名
その他	7名

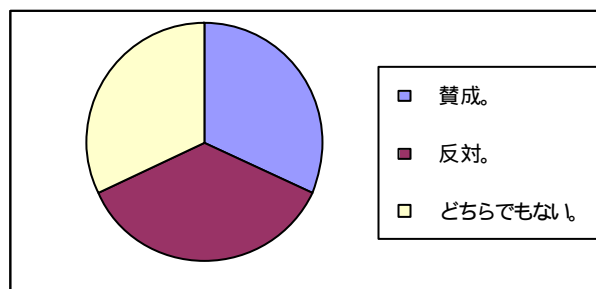


この設問では、136名中108名が「組合の頑張り进行评估する」という回答でした。一方、及び を回答した者は、非組合員よりも組合員が多く(は17名中10名、 は4名中3名) 組合は組合員からより多くの期待を受けていると考えられます。

この設問に対するその他のコメントには、「組合は教職員数削減反対と言っているが、実際に組合が言っているのは教員数削減である。職員数はこれまでも毎年削減されており、労働強化も今に始まったものではない」という内容のものや、「非常勤職員にはボーナスは関係ない」というものがありました。

7. 今年度から、平成19年1月より昇級時期が統一され、その上で「査定昇級」が導入されようとしています。あなたは一般的に「成果主義」をどう思いますか。またその理由をお書き下さい。(総数135名)

賛成。	43名
反対。	49名
どちらでもない。	43名



この設問に関しては、「反対」が「賛成」をやや上回っています。内訳で言うと、男性職員(27名中14人)や非常勤職員(3名中3名)に、「賛成」を選んだ人が多いです。また、組合員はどちらかというと「反対」を

多く選んでいます(56名中26名)。その他に女性教職員が「反対」を多く選んでいるようです(女性教職員は10名中5名、女性職員は12名中5名)

この設問に関しては、理由を書く人が多かったです。「賛成」は28人、「反対」は42人、「どちらでもない」は24人でした。「賛成」にせよ「反対」にせよ、「査定昇級をするならその評価方法が公正なものであるべきだ」という意見が多かったです。

現在抱えている問題

8. あなたが大学での労働環境について抱えている問題、あるいは自分以外のことで日頃感じている問題がありましたら、差し障りのない範囲でお書き下さい。(参考にする程度で、公表はしません)

この項目にいろいろな意見が出されました。今後の組合活動の参考にさせていただきます。

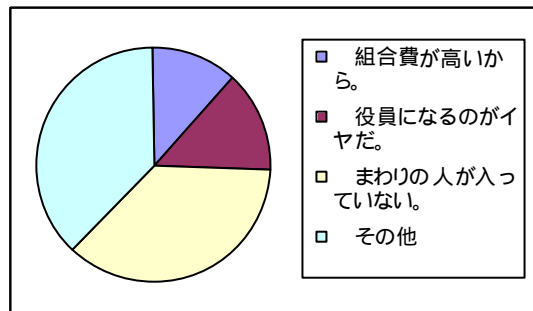
組合について

9. あなたは組合員ですか。 はい。 いいえ。

冒頭でも書きましたが、回答して下さった組合員は55名、非組合員は80名でした。

10. 9の質問で「いいえ」の方(非組合員)のみお答え下さい。その理由は何ですか。(複数回答可)(非組合員80人のうちで)

- 組合費が高いから。 10名
- 役員になるのがイヤだ。 12名
- まわりの人が入っていない。 31名
- その他 32名



この非組合員にその理由を問う設問に関しては、「まわりの人が入っていない」という理由が一番多かったです。特に回答して下さった職員で非組合員の方のうち約半数がこの選択肢を選びました(非組合員男性職員24名中13名、非組合員女性職員12名中5名)。今後、教員のみならず、職員の方々も進んで加入して頂けるような組合の組織作りが必要と思われます。

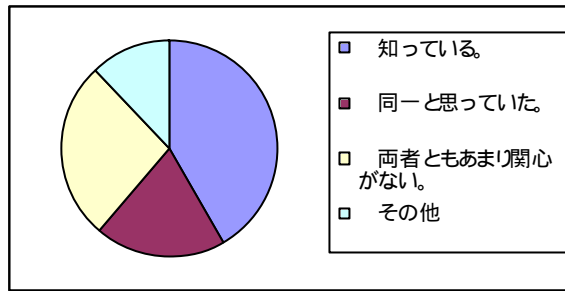
組合に加入しないその他の理由として、「仕事が増えそうだから」というのがありました。教職員及び男女を問わず公平に仕事を分担していけるような組合活動を心がけていきたいと思えます。また、「組合費はいくらですか」という質問もありましたが、本俸の0.5%を毎月連合体に納めて頂きます。単組に属するのであれば、その単組なりの組合費の規定があります。

座 標 軸

教育基本法「改正」審議が、国会で開始され始めている。「改正」の主要内容が、愛国心教育の導入と政治権力の教育への介入の2点にあることは、すでに広く知られている。愛国心教育が必要であることだが、王ジャパンやジーコ・ジャパンへの熱狂ぶりを見ると、日本人の愛国心も相当旺盛である。さらに何を教え込もうとしているのかといえば、国のために生命を捧げるような愛国心、命を捨てて国を守ることを義務と考えるような愛国心を教え込もうとしているとしか考えられない。そこには、かつての軍国主義的排外主義的な愛国心へ流れ込んでいく危険性が限りなく孕まれているのではない。教育再生会議も始まった。際限ない競争主義教育への衝動も露わにされようとしている。日教組の活動家は教育免許を更新しないと叫び出している。そこへ政治の教育介入の制度化である。そうした線に沿った教育が、すぐ国民投票権者となる中学生あたりからを対象として開始されるなら拉致問題や核実験問題を材料とする「愛国心教育」は、憲法「改正」の気運を一挙に高めるかも知れない。安倍総理が挙げた5年という数字には、はっきりとした根拠があるというべきだろう。(い)

11. あなたは岡山大学職員組合と事業場別職員代表委員会の違いを知っていますか。(総数134名)

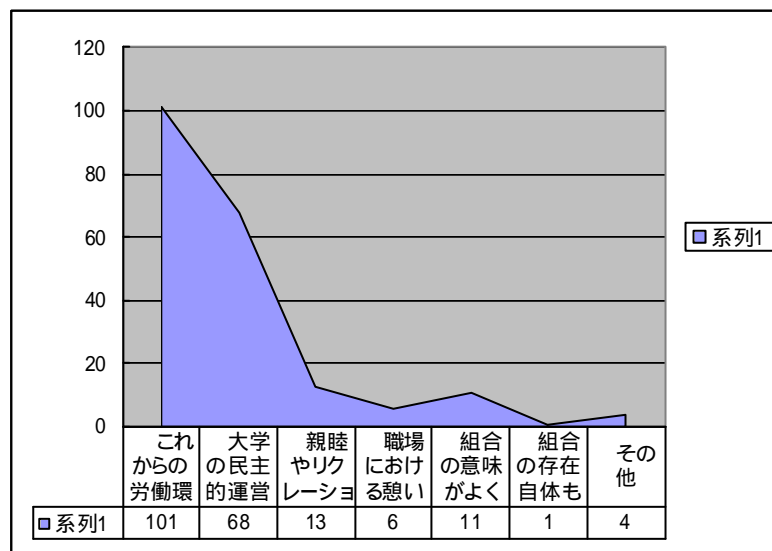
- 知っている。 55名
- 同一と思っていた。 26名
- 両者ともあまり関心がない。 37名
- その他 16名



134名中、の「知っている」という回答した人が55名であり、半数以上が組合と事業場別職員代表委員会との違いを知らないということになります。当たり前のことも知れませんが、の「両者ともあまり関心がない」の内訳を見てみると、非組合員が37名中31名と大多数を占めています。を選んだ人は、男性職員(27名中12名)と非常勤職員(5名中4名)が多かったです。

12. あなたは岡山大学職員組合の役割をどのように考えていますか。(複数回答可)(136名のうちで)

- これからの労働環境改善のためには大切な存在。 101名
- 大学の民主的運営のために必要。 68名
- 親睦やリクレーションのために必要。 13名
- 職場における憩いの場として必要。 6名
- 組合の意味がよくわからない。 11名
- 組合の存在自体も知らなかった。 1名
- その他 4名

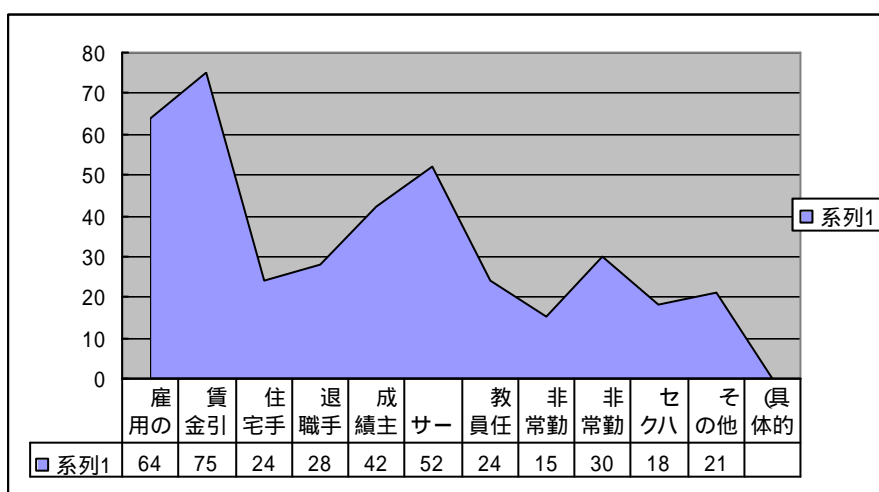


このアンケート回答結果から見られるように、これからの組合は労働環境改善のために運動することを周囲からは期待されているようです。また、大学が民主的運営をするようにその監視役としての機能も期待されているようです。組合がかつてそういう時期もあったような、組合員同士の親睦の場としての意義は今後薄れていくようです。

また、の「組合の意味がよくわからない」という回答も4番目に多いですが、組合活動の内容をもっとオープンにするなどの取り組みも必要かも知れません。

13. あなたは組合はどのような取り組みを強めるべきだと思いますか。また組合に何を期待しますか。(複数回答可)(136名のうち)

雇用の確保。	64名
賃金引下げ反対または賃金引き上げ。	75名
住宅手当、扶養手当など諸手当の引き上げ。	24名
退職手当引き下げ反対。	28名
成績主義重視などの問題。	42名
サービス残業の廃止、残業の軽減。	52名
教員任期制の廃止。	24名
非常勤職員の常勤化。	15名
非常勤職員の待遇改善。	30名
セクハラ防止や男女平等の取組。	18名
その他の労働条件の改善。	21名

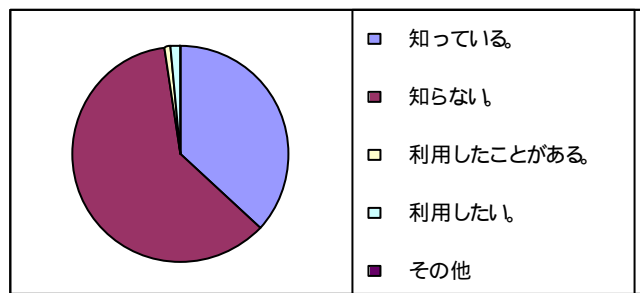


この設問では、「賃金引き下げ反対」や「雇用の確保」や「サービス残業の廃止」が特に多かったです。この傾向は、前回4年前にアンケートしたときと同じです。4年前は、「賃金引き下げ反対」は「雇用の確保」や「サービス残業の廃止」ほどは多くありませんでしたが、昨年度今年度と実際に賃金引き下げが敢行されたこともあり、今回のアンケートでは賃金引き下げが一番回答を集めたようです。

細かく見ると、「サービス残業の廃止」を選んだのは、女性教員(10人中4名)、男女の職員(41名中17名)、附属学園の男女の教員(15名中10名)が多かったです。サービス残業がいまだなお続いているということなのではないでしょうか。また、「成績重視主義などの問題」「非常勤職員の待遇改善」も回答数が多かったです。

14. 職員組合は、人権相談所(「ユニオン」)を設けていますが、このことをご存じですか。(総数135名)

知っている。	50名
知らない。	82名
利用したことがある。	1名
利用したい。	2名
その他	0名

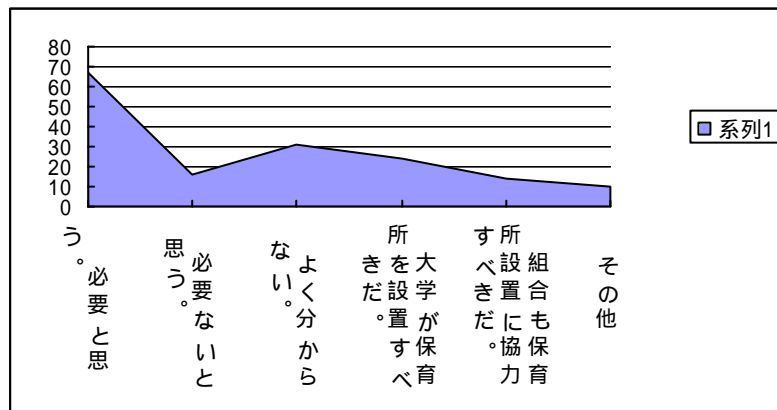


この設問に対する回答では、「ユニオン」がそれほど知られていないこと、またあまり利用されてもいないと

ということが明らかになりました。「ユニオン」が頻繁に利用されるような職場環境も問題ではありますが、やはり教職員の方々が問題を抱えたとき、気軽に相談に行けるような「ユニオン」であってほしいです。「ユニオン」を知らないという人は、非組合員の多い職員にたくさんいます（男性職員27人中22人・女性職員12人中10人）。このアンケートを機に職員の方にも「ユニオン」の存在を知って頂き、機会があったら活用して頂きたいと思います。詳しいことのお問い合わせは、ユニオン担当の組合員（下野克巳氏：内線7536、松本直子氏：内線7519、竹内真理氏：内線7472、中富公一氏：内線7510）までご連絡下さい。

15. 少子高齢化の中、大学で働く者にとっても育児が大変ななっていますが、鹿田キャンパスには保育所があるのに、津島キャンパスにはありません。あなたは津島キャンパスに保育所が必要と思いますか。（複数回答可）（136名のうちで）

必要と思う。	67名
必要ないと思う。	16名
よく分からない。	31名
大学が保育所を設置すべきだ。	24名
組合も保育所設置に協力すべきだ。	14名
その他	10名



この設問は、男女共同参画に関する問題です。保育所が「必要と思う」と回答した人が一番多いですが、「よく分からない」や「必要ない」と答えた人も合計で47名と少なからずいます。また、の「大学が保育所を設置すべきだ」という回答は24とあまり多くありませんが、その理由として、大学が保育所を設置することにより大学の支出が増え、その分今の給料や研究費が下げられるのではないかと考えている人もいます。実際、そのような内容のコメントもありました。またその他のコメントとして、「どの程度の必要性があるか分からない」、「近隣の保育所と提携する方がよい場合もあるかも」、この問題に対する「教職員の意識改革」が必要だという意見もありました。

この設問に関して、ある女性組合員の方から以下のような意見が出されました。A4の紙1枚の長いご意見でしたが、そのうちの一部を抜粋させていただきます。



「個人的にも、女性として現状の職場環境は、これから結婚・出産を考えようとする若手研究者の将来に対して逆行する状況を生み出そうとしていると思えます。私の部局では、女性教員は全体の2割弱と増えてきました。しかし、私が赴任しました19年前より現在まで、私以外のどなたも結婚・出産をされた女性教員はいません。私は幸いなことに2人の子どもを産み育てています。大学で働く女性教員に対する少子化対策は何もされていないのではないのでしょうか。津島学区では保育所設備がない上、業績づくりのために追い立てられているこのような環境は、人間としての幸せや向上心を奪っています。女性教員が子どもを生み育てられる環境づくりを考えていけたらと願っています。」

感想

今回のアンケートで一番印象的だったことは、組合に入っておられない多くの方々が自分たちの職場環境について大変に関心を持っておられるということです。しかし残念なことに、岡山大学での組合組織率は20%くらいです。また、アンケートに回答下さった非組合員80名のうち31名がその理由に「まわりの人が入っていないから」と回答されました。特に男性職員24名中13名が、そして女性職員12名中5名がこの理由を選びました。職員の方々が、お互いを誘い合って組合に加入して頂ける日が来れば嬉しく思います。

また、組合に入らない「その他」の理由として、「組合は教員のためだけにあるから」と回答する方もおられましたが、活動は全て公平に行われています。たくさんの方が組合に加入し、組合の声が大きくなれば、労働条件等、改善されやすくなります。

組合事務所も、雨漏りのする老朽化したプレハブから新しいところへ移りたいという長年の思いが実現し、10月中には一般教育棟A棟1階東に引っ越すことになりました。(生協のお弁当売り場の向かい側)連合体の執行委員会のある時でなくても、組合事務所がどのようなものか覗いてみようと思ったら、どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。

新しい組合事務室です

A棟 
B棟 
C棟 

～ あなたも組合の仲間になりませんか？ ～
あなたの権利・みんなを守る

あなたの声を組合活動に、大学運営に、反映させてみませんか。

主な活動：学長へ要求書提出・交渉	単組(学部)毎に
教研活動	学部長へ要求書提出・交渉
組合だより発行	ソフトボール大会 芸術鑑賞
コーラス 他	芋掘り大会 ビアパーティー 他



さんぽみち

丸亀の猪熊美術館へ行った。「無言館」を見にである。正確に言えば、妻に連れていかれたというのが実際である。

「戦没画学生 いのちの叫び」といったキャッチフレーズだけで、もう私は竦んでしまう。わざわざ実物を見なくてもいいと私ははなから逃げ腰なのだ。

だから、上田に旅行したときも、時間を他で費やして、妻の希望を上手く逸らしたりした。しかし、もうそれ自身が目と鼻の先にやってきているのである。

私には逃げる術もなかった。そして、私の予感、的中した。展示室に入室した瞬間、遺品の展示ケースを見ている婦人の押し殺したようなすすり泣きが、私の耳を捉えた。

とそのとき私の目の中に、興梠武の「編み物をする婦人」が飛び込んできた。「千葉県生 享年28歳」という解説も、目の端が捉えていた。

やや前屈みの姿勢で、ひだまりの中、編み物をする中年婦人の半身像が横顔を見せている。静かで、しかし愁いを帯びた姿。

私には、なぜか、「婦人」とは題されても、実は作者の母なのだと思われた。いやそうだともう決めてしまっていた。

断ちかねた想いを抑え母を描く

私の中には、もうすすり泣きがそのまま居座ってしまった。私は涙で曇った目で、鮮やかな色彩や端正なフォルムの中に溺れた。

遠い見知らぬ異国で死んだ 画学生よ
私はあなたを知らない

知っているのは あなたが遺したたった1枚の絵だ

その絵に刻まれた かけがえのないあなたの
生命の時間だけだ(窪島誠一郎)

(k)